図書室通信

第 85 号

2022.11.25

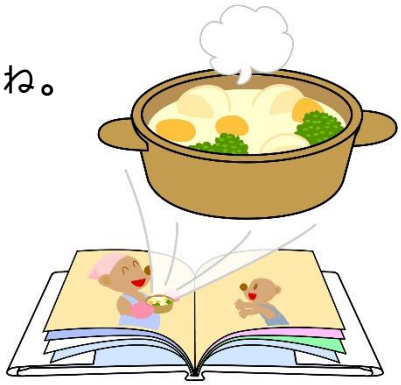
図書室

立冬が過ぎ、暦の上では冬ですが…と但し書き付きで、
毎年恒例　〈読書の秋！〉と〈食欲の秋！〉を両方堪能できる企画

思わず食べたくなる！作りたくなる！
料理・食事シーン満載の図書特集

開催中です

小説や物語を読んでいて、「おいしそうな料理だなあ、どんな味かしら、食べてみないなあ」と思ったことはありませんか。幼い頃、『ぐりとぐら』（中川李枝子作）のカステラに心惹かれた人も多いのではないですか。そんな一度は食べてみたい、作ってみたいと思う食事（料理）シーン満載の本を集めました。
また、小説だけではなく、アニメやコミックに登場した料理を再現できるレシピ本も展示しています。
だんだん寒くなってきてほかほか温かい食べ物がおいしいですね。
本を読んでおなかもこころもあたたかくなってください。



『児童文学のキッチン』小林深雪 文　講談社（909-コ）
『まんがキッチン』福田里香 著 アスペクト（596-フ）
『おいしく世界史』庭乃桃著 柏書房（383-ニ）
『古代メソポタミア飯』遠藤雅司 著 大和書房（383-エ）
『食べ物語る BUNDAN レシピ』BUNNDAN COFFE &BEER 著 主婦の友社（596-ブ）
『古典がおいしい！平安時代のスイーツ』前川佳代 他 著　かもがわ出版（383-マ）他
『グリーン・グリーン』あさのあつこ 著　徳間書店
『食堂かたつむり』小川糸 著　ポプラ社
『妖怪アパートの幽雅な日常』香月日輪 著　講談社
『カフェ・デ・キリコ』佐藤まどか 著　講談社
『峠うどん』重松清 著　講談社
『タスキメシ』額賀澪 著　小学館
『言葉の園のお菓子番』ほしのさなえ 著　だいわ文庫
『宙(そら)ごはん』町田そのこ 著 小学館
『ランチのアッコちゃん』柚木麻子 著　双葉社　　他

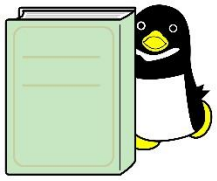
今年も募集します

「高校生直木賞」選考に参加しませんか

「高校生直木賞」とは、直近１年の直木賞候補作から、高校生が「今年の１作」を選ぶ企画です。（明治大学の先生が企画し、文部科学省と（株）文藝春秋が後援しています。）

「高校生直木賞」の詳細は http://koukouseinaoki.com/ で見ることができます。（左記 QR コードからご覧になれます。）

本を読んで、どんなところが良いか、みんなに薦めたい作品だ等々、高校生の皆さんの基準で評価します。大人が選ぶ大きな賞の結果に左右されず、「私たちの１番！」を決定できます。



今年は第 10 回の記念の回です。何か特別な企画があるようです。

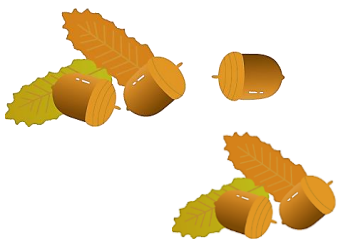
本を読むのが好きな人
普段あまり手に取らないような本を読んでみたい人
本についてだれかと語ってみたい人
本の評価をするのが好きな人
今までほとんど本を読まなかったけれど興味のある人　etc

ぜひ参加してください。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。興味のある方は、**図書室までお声掛けください**。読む作品はまだ未定です。

過去の受賞作品

第９回　『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬 著　早川書房
第８回　『雲を紡ぐ』伊吹有喜 著　文藝春秋
　　『オルタネート』加藤シゲアキ 著　新潮社
第７回　『渦　妹背山婦女庭訓魂結び』大島万寿美 著　文藝春秋
第６回　『熱帯』森見登美彦 著　文藝春秋

いずれも図書室に所蔵しています。



高校生直木賞ですが、高校生だけではなく、中学生も参加できます。